

事前評価個表

| | |
|------|----|
| 整理番号 | 61 |
|------|----|

| | | | |
|---------|-----------------|--------|---------------|
| 地域（地区）名 | まるやまがわ 円山川地域 | 事業名 | 森林環境保全整備事業 |
| 計画策定主体 | 兵庫県 | 対象市町村 | 豊岡市ほか4市町 |
| 事業実施期間 | H23 ~ H27（5年間） | 事業実施主体 | 市町、林業公社、森林組合等 |

| | |
|-----------|--|
| 事業の概要・目的 | <p>本事業地は、県北部に位置する但馬地域5市町で県土面積の約25%を占め、中国山地の分水嶺以北から日本海まで位置し、兵庫県の最高峰氷ノ山など1,000m級の山々が連なる。</p> <p>森林面積 176,538haで、うち民有林面積が170,313ha(96%)を占める。人工林面積 89,342haで人工林率 52.5%は県平均よりも高く流域単位ではもっとも人工林化が進んだ地域で、林業は古くから重要な基幹産業の一つである。</p> <p>しかし、林業採算性の悪化などにより間伐等の森林整備が適切に実施されていない森林が一部に見られるなど、多面的機能の低下が危惧されている。</p> <p>このため、県が進める流域林業経営モデル団地や低コスト経営団地に積極的に取り組み、面的まとまりのある施業実施による施業集約化・低コスト化を図る。また、適正な維持管理がなされていない森林について、間伐等の施業の重点化を行い手遅れ林分の解消により、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させる。</p> |
| 事業内容・事業費 | <p>森林整備：19,003ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：8,037,850千円</p> |
| 費用対効果分析結果 | <p>B/C = 5.07 (総便益(B) = 58,372,990千円、総費用(C) = 11,511,865千円)</p> |
| 評価結果 | <p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：資源として本格的に利用可能な段階を迎えている人工林等を適正に整備することにより、公益的機能の発揮と県産材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>森林は多面的な機能を有しているが、これらの機能を一度失うとその回復には長期間を要することから、生育段階や立地条件に応じた適時・適切な森林整備が不可欠である。 本計画では、森林の公益的機能の発揮に配慮した計画としているほか、効率性や有効性が認められることから、本計画を実施することは適当である。</p> |

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 円山川

兵庫県
(単位: 千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評 価 額 | 備 考 |
|-----------|---|------------|-----|
| 水源かん養便益 | 洪水防止便益 | 12,430,449 | |
| | 流域貯水便益 | 6,609,058 | |
| | 水質浄化便益 | 11,282,964 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 14,935,915 | |
| | 土砂崩壊防止便益 | 31,963 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 7,536,027 | |
| 木材生産便益 | 木材生産確保・増進便益 | 5,546,614 | |
| 総 便 益 (B) | | 58,372,990 | |
| 総 費 用 (C) | | 11,511,865 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{58,372,990}{11,511,865} = 5.07$ | | |

森林環境保全整備事業 円山川流域地区 (兵庫県概要図)

